

第2回第2次岡崎市文化振興推進計画策定委員会会議録

1 日時

平成 28年3月1日(火) 午後2時 00 分開会 午後4時 15 分閉会

2 場所

岡崎市役所 東庁舎 5階 501 号室

3 委員

出席者 清水裕之、榊原悟、団野美由紀、柴田剛太郎、渡辺傳次郎、
梶田美香、仲村悠希、青木日奈子

欠席者 山田高広

4 事務局

文化総務課 主幹 前島豊、主任主査 梅澤秀一、主任主査 柘植博之、
主事 鈴木みどり

5 傍聴人

なし

6 議題

(1)平成 27 年度「岡崎市市民意識調査」の集計結果について

7 議題要旨

議題(1) 平成 27 年度「岡崎市市民意識調査」の集計結果について

事務局 「岡崎市市民文化意識調査(以下、「意識調査」と表記。)」の実施及び分析結果について説明。

1 文化のイメージに関する設問

委員 問1について、年齢別の結果をみると、若い人が「文化的である」と感じていることがわかる。好意的に感じる。

委員 文化的であるかどうかのイメージというのは、都市によって違う。歴史的な物はなくとも、例えば東京の周辺都市であれば、それだけで「文化的」と感じることもある。

委員 問1-1について、「伝統的な祭」に関して、30 歳未満と高齢者が、そして

「市民の文化活動が盛んなこと」は、年齢があがるにつれて、割合があがる。結果から傾向をよんで、それぞれの年代に届くような施策にしなくてはならない。今回の結果を活用して欲しい。

2 文化芸術の鑑賞活動に関する設問

- 委員 設2-1について、「音楽」をひとくくりをしているが、性質が違うはず。年齢別で見ると、30歳未満と高齢者はともに割合が高いが、中身が異なるのでは。また、「漫画」は若い世代が多い。「ダンス」は、40代50代が高い。「演劇」は若い人が高い。丁寧によみといていきたい。
- 事業を行う際に、割合の低い、逆の層に対して働きかけることも検討すべき。
- 委員 美術館等では、「何曜日に鑑賞したか」や「午前と午後のどちらに鑑賞したか」などを今回は聞き忘れてしまった。次回は聞いていただきたい。
- 委員 元気で活躍されている高齢者でも、夜の運転が怖いので、いかないという話も聞く。夜の公演はチケットが売れなくなっている。
- 委員 料金設定については、他市の値段を知らなければ、高いと感じる人もいるかもしれないが、内容から勘案し、本市の料金設定はとても良心的と感じている。今回の結果を受けて、値段を安く設定し直すというのは違うのではないか。
- 委員 問4について、若い人はやはり入場料金のことが気になるし、高齢者は、近くで公演が行われるかどうか気になるようである。
- 委員 「学割」「ジュニアシート」「アンダー25」「当日券」など、館によって様々工夫している。愛知県芸術劇場など他館の事例と比較検討するとよい。
- 委員 問4について、今回の設問は、市内での鑑賞に限っていない。次回は「どこで鑑賞したか」を設けていただきたい。
- 委員 学生などは、SNSを情報源にしている様だが、好きな人はどこへでも一人で鑑賞しに行くものである。「一緒にいく仲間がいない」と回答した方は、普段から鑑賞していない人である可能性が高い。しかしながら、他市で調査した際、SNSから直接情報をとる人は少なく、知人や家族からの情報だったとわかったということがあった。数人で来場すれば料金が安くなるなど、メリットがあるようなことを検討されてもよいか。
- 委員 そのあたりは現代的な解釈をしてほしい。

3 文化芸術活動に関する設問

- 委員 問5-2について、私の周りには、市政だよりをチェックしている人が多い。
- 委員 問7【年齢別】について、若い人が「技術的な指導が受けられない」と感じて

いるということは、特筆すべきこと。大学はサークル、高校は部活があるが、それ以降は、何かを始めたいときに意外ときっかけがないのかもしれない。

委員 公的機関で、劇場のスタッフの技術指導を派遣するプログラムを持っているところがなかったか。一度探し、参考にしたらどうか。

事務局 今回の調査対象は、18歳以上であるが、ここだけに限らず、10代と20代の傾向が似ている設問については、「30代未満」としてひとくくりになっている。

4 文化情報に関する設問

委員 問9【年齢別】について、年齢が高くなると、「市政だより」の割合が高い。

委員 問10について、「文化施設や文化財の場所の情報」の割合が高くなっているが、「居住年数」にとリンクしていないか。

委員 現在はとてもきれいに整備されているという印象である。

委員 問10【文化芸術活動別】について、「活動を行っている」方は全体的に情報を欲しがっているが、チケットの入手方法などは、逆によく知っている。

5 歴史文化の継承と活用に関する設問

委員 問12【地区別】について、人口比を勘案しても、「岩津地区」の「行った」という割合が特異的に少ないように感じる。何か理由があるのか、一度調べていただきたい。

委員 問13について、文楽公演を継続して開催すると考えている人が多い。

委員 お祭りに対する回答が多いのは、小さい頃からお祭りに参加し、大人が神事を行う様子をみて育つ子が多いからではないか。

委員 それは珍しいことで、特徴的だと感じる。人口も多い岡崎市において、神事がそのように継承されていることは、重要なこと。

委員 夏のお祭りなど、長年行政で行ってきたことが、根付いているというところもある。

委員 宗教行事はダイレクトに行政が行っていくことはできないが、文化財の価値に対して働きかけていくことは、行政でも可能ではないか。

6 文化施設に関する設問

委員 問17について、「岡崎市シビックセンター」と「岡崎市図書館交流プラザりぶら」は人気の施設であるとわかる。

委員 問18【年齢別】について、若い人と高齢者は、交通の便をよくして欲しいと考え、中間世代は、広い駐車場が欲しいということがわかる。あと、飲食店も若い世代に望まれている。

委員 問18及び問19について、ホールを有する文化施設と美術館系の文化施設

では、ほとんど同じ傾向を示すとわかる。

委員 美術館系文化施設において、コレクションはよいものを持っているので、常設的に展示ができるとよい。

7 岡崎市の文化行政に関する設問

委員 問21～24について、妥当な結果と感じる。問24については、2割にのぼる方が「イメージが向上した」と回答されていることは注目に値する。

委員 問25【年齢別】について、「地域の人同士のふれあいや助け合いが盛んなこと」を選ぶ若い方が多いことは、面白い結果である。

委員 問27について、ポートフォリオ分析の結果、重要度が高いものについては、満足度も高いようにみえる。中央に固まっている、「4. 美術博物館などでの美術や歴史などの展覧会の開催」「11. 文化施設の整備充実」「12. 歴史文化情報の提供」のあたりは着目したい。

また、年齢別にみていくと、似たような傾向ではあるが、若干ことなるところがあるので、注意してみていきたい。

委員 前回の結果や分析をきちんと反映させてほしい。

委員 問27【年齢別】にみると、30代・40代が、「9. 伝統文化・伝統芸能の継承」について、重要であるが、不満に感じているようだ。年齢が高い方は満足度が高い。

委員 本日は、時間になってしまったので、ここまで。ほかに御意見があれば、事務局へ。報告書をまとめるところは事務局に一任します。

事務局 本日の御意見をもとに、報告書を修正します。報告書の本編に合わせて、概要版も作成します。本日は以上です。

午後4時 15 分 閉会